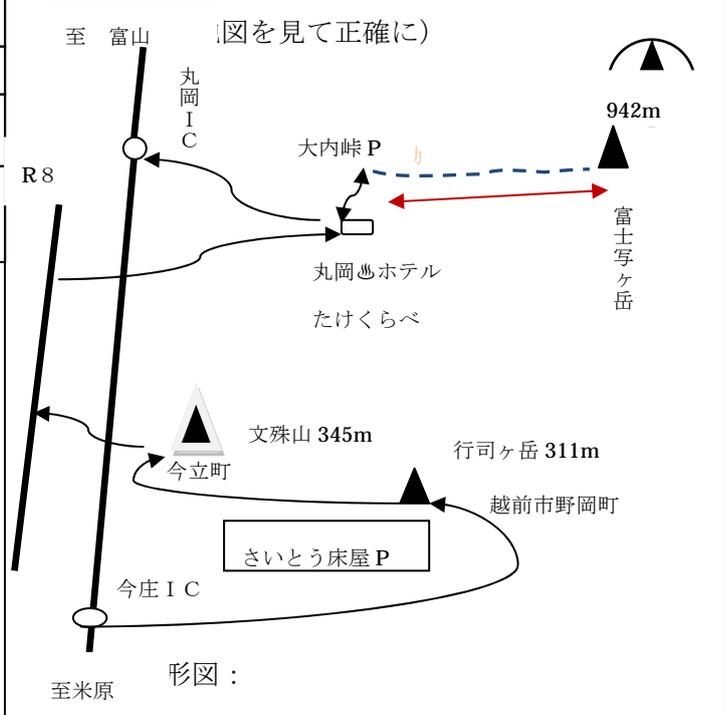


11月度 例会 山行報告書		報告者	油井 武	参加 メンバー	CL: 塚本英吾 SL: 青山 武 MB: 油井 武
個人		報告日	11/18		
山城	越前のふるさと富士	山行日	2013年 11月 13日 (水)		
山名	行司ヶ岳、文殊山、富士写ヶ岳		~14日 (木)		

山行目的	晩秋のふるさと富士を愛でる	コースタイム (天候: 天気図記号)	
------	---------------	--------------------	--

配布先
総会参加数
山行: 1
リーダー
原紙:
会事務局



11/13 日: 小雨後晴れ
コースタイム:
13日 (水)
刈谷 6:00~行司ヶ岳登山口
9:15: 越前市野岡町着
9:30 床屋P着
10:00 スタート~曇り 12℃
11:10 行司ヶ岳山頂 10℃晴れ
12:00 下山
12:45 移動
13:10 今立町文殊山登山口
13:22 スタート: 12℃
14:20 文殊山頂上 10℃
14:50 文殊山奥の院晴れ
15:45 同ふもとに下山
16:50 丸岡温泉着
17:00 ホテルたけくらべ

11/14 (木) 晴れ
8:30 ホテル:たけくらべ発
8:45 大内峠
丸岡・山中温泉トンネル上のP着
9:00 スタート晴れ 4℃
11:22 富士写ヶ岳頂上着
12:00 同発下り、晴れ 12℃
13:33 ふもとへ下山P着
14:00 同ホテルにて
15:00 ホテル発
18:00 刈谷着

〈山行報告〉 11月に入って1つ目の寒気団がやってきたので、朝は5℃と寒い。刈谷を6時に出発し、ガスを満タンにいれ、三好ICから高速に乗った。天候があまり思わしくないで、計画を反転し低い山2つを先にして、本命の富士写ヶ岳は翌日登ることにした。北陸道の今庄ICで降り行司ヶ岳の麓の町へ向かう。国中町のお寺で登り口の情報を訪ねるが、要領を得ず野岡町へ戻る。山の全容が望める工場の駐車場に車を仮置きし、3人が手分けして情報をあつめる。ほどなくリーダーが理髪店の脇に登山口を見つけ、床屋の女主から、道案内と駐車場の使用許可をもらってきたのはさすが。お客の散髪中にも関わらず手を停めて、丁寧に説明されたと・・・。登り始めて10分で忠魂碑のある公園風な前山に着く。石碑には希典とあった。ブナ林の急斜面をジグザグに進むと約1Hで山頂に着いた。頂上で昼食をとり、次に登る文殊山の方向を確かめ下山。駐車場に降りたら、例の小奇麗な女将さんが待っておられ、お茶を是非にと勧められ、言葉に甘えて、座敷まで上がりこむ。茶菓のもてなしに時を忘れて疲れを癒やしたが、よく伺うと、今年1月お連れ合いを亡くされたとの由。仏壇に向かって手を合わせ、ご愁傷の辞とお礼をのべて辞去。

午後、文殊山では直ぐに登り口がわかった。頂上には、立派なお堂があり、人影はまばらながら、常に参詣登山者があるとの、地元の人のお話。我ら3人は奥の院まで15分足を延し、眼下に越前平野を望み、下山。丸岡へはR8号からR364を経て、ホテルたけくらべに到着。翌14日は晴天に恵まれ富士写ヶ岳へ登山。ホテルから林道を通り大内トンネル

を抜けると峠下にPあり。登山開始3分でいきなり急な登りとなり、ピッチ25でゆっくり登る。紅葉の綺麗なところで1本とる。8合目あたりから、昨日積もったと思える雪が約10cm深さであり、ハイ松に積もった雪をつまんで、のどの渇きを癒やしながら登る。頂上では女性4人のパーティのほか個人山行の数人と出会い、情報交換をした。下山では粘土質の岩に苔が付いており慎重に下った。とにかく全員無事に帰宅出来たことを、感謝して筆を置く。



〈リーダー所見〉雨が心配だったので計画とは反対に低山から登山を開始した。ふるさと富士への入山にあたって、先ず現地の人との丁寧な接し方が大切であることは論をまたないが、今回ほど運の良かったことはない。それは、登り口の真横にある理髪店の駐車場で、その女将さんの計らいで、借りることが出来、かつ懇切丁寧な案内を受け、帰りには、座敷まで案内され、茶菓の接待までいただくという、鄭重なる“おもてなし”に接したことである。感謝の礼状を送った。



確認
(リーダー)
塚
13/11/18
本
作成
(報告者)
油
13/11/18
井